

『自然文化誌研究会創設 50 周年記念』

『INCH と私 今までとこれからのご報告』

菱井優介（自然文化誌研究会理事）

10月4日、自然文化誌研究会（INCH）50周年記念イベントにご参加いただきありがとうございました。正直、ホッとしているというのが私の実感。

・久しぶり！

会場には「懐かし～」「変わったね（あるいは、変わらないね）」という会話が終始、飛び交っていたように思う。大同窓会をやろう、という実行委員会のねらいは、これで十分に達成されただろう。

・映像で振り返る50年

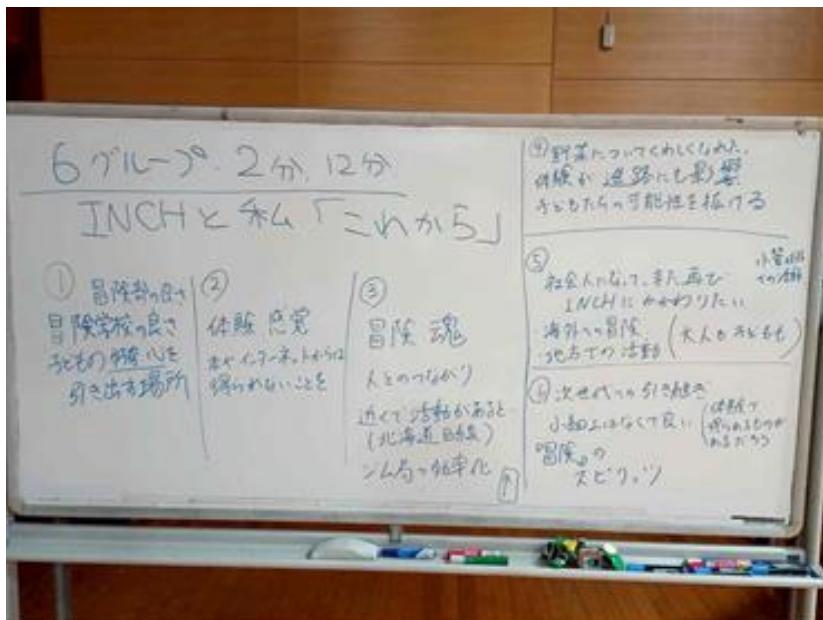
中込ミさんに編集していただいた映像を上映。みんなの若かりし頃の姿は、恥ずかしさと懐かしさでいっぱいだった。ご覧になりたい方向けに限定公開出来るように準備する予定です。すこしお待ちください。

これまでを語る時間

創設期、冒険探検部、冒険学校、農学校…とINCHに関わり始めた年代ごとにグループに分かれてのトークセッション。車座になりそれぞれの思い出話で盛り上がっていただいた。

・これからを話す時間

世代を入れ替えて、INCHと私のこれからについてトークセッション。INCHとの関わりの度合いが違うメンバーでも話し合いは自然と熱くなっていたように思う。



・からのキーワード

6つのグループで話をしてもらい発表した。

これらを一言でまとめるのは難しい。

- ・好奇心を満たす冒険・探検

- ・ここでしか出会えない体験や人

- ・次世代につなげる「冒険」

さまざまな思いや考えを聞く場になった。

INCHの大切にしてきた「部分」を感じることが出来る貴重な時間だったと思う。

・第2部は…

多くは語るまい。明け方まで続いた。

変な人たちの集まりはこれからも続く。

今回、50周年記念イベントに関わっていただいたみなさま、ありがとうございました。またお会いしましょう！

今回の再会と出会いがきっと新しいなにかにつながっていく信じて。

2025年12月末日 菱井優介





10月4日当日、北は北海道、南は九州から駆け付けてくれたのは90名を超える関係者の方々。東京学芸大学農園を舞台に、シシカバを食べ、木俣さんの料理もあり、古き良き空気も流れました。これにて、自然文化誌研究会創設50周年記念の3本柱…6月の記念座談会、50周年記念誌の発行、10月の記念の会が無事に終了しました。みなさまありがとうございました。

(事務局 黒澤友彦)

※会員のみなさまには50周年記念誌を送付させていただきました。